

1 特定結果

(仮称) 道の駅アリストぬまくま改築工事設計業務委託の設計者特定について、公募型プロポーザルを実施した結果、次のとおり設計者の候補者（特定者）を特定しました。

特定者	株式会社 内藤廣建築設計事務所
次点者	株式会社 NSP 設計

2 審査経過等

(1) 設計者選定委員

専門知識を有する学識経験者及び関係行政機関の職員等で構成する「(仮称) 道の駅アリストぬまくま改築工事設計業務事業者選定委員会」において、提出された技術提案書及びヒアリングによる評価を行いました。

【設計者選定委員】（順不同、敬称略）

委員区分	名 前	役職等	審査の視点
座 長	下川 勇	福井工業大学 工学部 教授	建築計画
委 員	杉原 義和	国土交通省 中国地方整備局 福山河川国道事務所 副所長（道路担当）	道路政策
委 員	吉田 勝則	広島県 土木建築局建築技術担当部長	建築技術
委 員	長津 義幸	福山市 企画財政局地域拠点形成推進部参与	地域行政
委 員	卜部 光央	福山市 経済環境局農林水産振興担当部長	農林行政
委 員	甚田 温子	福山市 経済環境局文化観光振興部長	観光行政
委 員	芝 雅浩	福山市 建設局建築部長	建築行政

(2) 審査概要

ア 技術提案書の提出者の選定（一次審査）

参加意向申出のあった 10 者について、評価要領に基づき資格要件並びに過去の実績及び技術力等を審査した結果、評価点の高い 5 者を技術提案書の提出者として選定しました。

イ 技術提案書の特定（二次審査）

5 者から提出された技術提案書及びヒアリング（プレゼンテーション及び質疑応答）による評価を行い、評価要領に基づき最も高い評価を得た事業者を、技術提案書の特定者として特定しました。

3 技術提案書の講評

(1) 概要

「道の駅アリストぬまくま」は 1996 年の建設から約 30 年が経過し、施設の老朽化や駐車場不足が進んでいます。軒未来トンネル開通等の南部地域の環境変化を契機に、「地域振興」と「観光振興」の両輪で持続的な発展に貢献するため、施設全体の改築・再整備を行うものです。

本プロポーザルでは、『地域振興』と『観光振興』の両輪を支え、連携・利便・安全を追求した施設計画について」を評価テーマとし、次の 3 つの課題に対する技術提案を求めました。

テーマ 1：「地域振興」と「観光振興」の両輪を最大化する配置・連携計画

住民の交流イベントや活動の輪を広げる空間と、南部地域の観光周遊を促す情報発信機能の充実。さらに隣接する「福山市沼隈図書館」等との動線連携を強化し、一体的なコミュニティ空間を創出するための効果的な配置策。

テーマ 2：安全な動線確保と実効性の高い段階的整備（ローリング計画）

既存施設の営業を継続するための工事期間中の安全性確保と運営負荷軽減の工夫。あわせて、駐車場（小型 130 台、大型 9 台）の歩車分離を徹底し、スムーズな入退場を可能にする安全な動線計画。

テーマ 3：運営効率化と維持管理コスト（LCC）に配慮した施設計画

休憩（トイレ）・産直・飲食・イベント各機能への円滑なアクセスと、バックヤード集約による効率的なゾーニング。将来のメンテナンスや更新を容易にし、長期的なコストを抑制する実用的で耐久性の高い建築部位・設備の提案。

(2) 講評

特定者の技術提案については、大屋根の下に各施設を配置し、駐車場や半三日月屋根を掛けた屋外広場、山南川に沿った回廊により敷地全体をつなぐ計画であり、施設利用の柔軟性及び敷地全体の一体感が高く評価されました。また、評価テーマである「地域振興」と「観光振興」の両輪を最大化する配置・連携計画において最も高い評価を受けたほか、将来の建設費を見据えたコスト管理・運用計画についても評価されました。一方で、工事期間中の営業継続に係るローリング計画やプレゼンテーションにおいては一部で評価が分かれていましたが、総合的な審査の結果、特定者とする決定に至りました。

次点者の技術提案については、各評価項目において優れた提案がなされ、特に安全な動線確保と実効性の高いローリング計画において最も高い評価を得ました。一方で、配置計画において評価が分かれたことから特定には至りませんでした。総合的な審査の結果、次点者となりました。

非特定者の技術提案につきましても、地域産材の積極的な活用、魅力的なアクティビティ空間の創出、効率的なバックヤード動線の工夫など、それぞれに意欲的で工夫に富んだ提案がなされました。しかしながら、工事期間中における営業継続時の安全動線や、敷地全体を活用した配置の柔軟性、将来的な運営・維持管理コストとのバランス等の観点において評価に差が生じ、特定に至りませんでした。

ご応募いただいた事業者の皆様におかれましては、本プロポーザルの趣旨をご理解いただき、極めて質の高い技術提案書の作成に貴重な時間と熱意を傾注していただきまして、心より感謝申し上げます。